

2025-26年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時: 毎週火曜日 12時30分 例会場所: 経済会館 3階大ホール
事務所: 〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第26回(通算3066回)2026年(令和8年)2月17日号

本日の例会 (2月17日)
「趣味としての音楽について」
堀川巳清 会員

次回の例会 (3月3日)
RYLA受講生卓話
保田麻央 様

・松倉圭吾会員
カウンセラー: 林 輝一会員
所属委員会: 出席委員会及び親睦委員会
◎クラブ内規委員会のご案内
2月10日(火)例会終了後
◎理事会のご案内
2月17日(火)例会終了後
◎事務局より皆さんにバレンタインのプレゼントを頂いております。日本料理の華かんざしさんから頂いております。ありがとうございました。

ゲスト
西川恵造様((一財)南都経済研究所理事長)
清原香織様((一財)南都経済研究所主任研究員)
誕生日祝
甲村侑男会員(2月11日)吉岡寛人会員(2月15日)
結婚記念日祝
廣橋健次郎会員(2月12日)吉井英一郎会員(2月16日)
創業記念日祝
高橋正典会員(2月11日)松村實昭会員(2月15日)
RI修了証授与
辻 修会員 藤井宏典会員 村島靖基会員
新入会員紹介
松倉圭吾(まつくら けいご)会員

**2月10日の例会報告
会長の時間**

御存じのように、総選挙で高市総理大臣が率いる自民党・与党が大勝いたしました。これからも高市総理には頑張っていただきたいと思っております。

さて、本日は新入会員の方が入会されました。退会者もございましたけれども、その分、増強が順調に進んでいると感じております。池木増強委員長をはじめ、各地区の情報集会の皆様のおかげです。これからはどんどん入会者を増やしていただきまようによりしくお願いいたします。


ローターアクトの会員数も、おかげさまで10名となりました。こちらにつきましても引き続きご協力、増強をお願いいたします。

RIの今月のテーマは、平和と紛争予防の月間です。現在も世界では多数の紛争がございます。RIでは、紛争予防の一つの方法として、2002年にロータリー平和センターを築きました。我々の年会費の中からRIへ資金協力をいたしまして、ロータリー財団では国際的な人材プログラムを作っております。日本にもございますのが平和センターで、世界で7つの大学とそれぞれ提携いたしまして、国際人材を育成するためのプログラムを各大学に提供しております。日本では国際基督教大学が提携されております。

そして、その素晴らしい人材が、国連や世界銀行などの国際機関、また政府、NGOの平和教育に携わっておられるということです。現在、世界115か国で1800人以上が活躍されているという報告を受けております。このように、RIにおいては、充実した活躍をしておられるわけですが、現実には紛争は一向には減らないという状況です。皆様方にとってもそれぞれ考える機会にさせていただければと思ひ、お話をいたしました。

幹事報告

◎新入会員カウンセラー及び所属委員会



Rotary Yamatotakada
生年月日 1982年8月18日
勤務先 松倉商事株式会社
役職 専務取締役
職業分類 LPガス販売業
勤務先住所 香芝市西真美2-2-6
推薦者 脇本吉清会員
鈴木勝士会員

委員会報告及びその他報告

◎趣味の会委員会 芸術・舞台・文化を楽しむ会
鶴山洋子世話人
本日ポスティングいたしました新歌舞伎座の公演ですが、来週から出席のお申し込みをしていただけます。藤山直美さんと高畑淳子さんのお芝居で、5月の予定です。ご参加の程よろしくお祈いします。
◎ローターアクト委員会 川中教正委員長
3月15日(日)に奈良ゾーン全体のアクトの日いたしましたして、高田川の清掃活動を「みんなとチャレンジin高田川」として行わせていただきます。今回は地域のボランティア団体や一般の皆様を広く募集して、皆で高田川をきれいにしようという運動を行います。参加していただける方は、QRコードからお申し込みをお願いいたします。
◎社会奉仕委員会 西田陽昭委員長
桜の植樹が2月25日(水)13時から15時30分の予定で大中公園にて行われます。ロータリーのしだれ桜がありますので、そちらへお越しください。作業

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]
1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

をいただける方は汚れてもよい服装でお願いいたします。

○高田地区情報集会 射場祥行世話人
2月10日(火)18時よりヴェルデ辻甚にて情報集会を行います。ご参加よろしくお願いたします。

ニコニコ箱

- ・南都経済研究所西川恵造理事長をお迎えして！
松倉圭吾新入会員をお迎えして。 山田 博会員
・西川さんをお迎えして。 安田志郎会員
・西川理事長をお迎えして。松倉圭吾新入会員をお
迎えして。 木原常裕会員
・松倉圭吾さんの入会を祝して。 池木啓仁会員 脇本吉清会員
- ・南都経済センター西川理事長をお迎えして。
吉村元嗣会員 寺田俊彦会員 辻 修会員
鈴木勝士会員 吉田 暁会員 河村憲一会員
下村敏博会員 樫根正起会員 村野淳二会員
清水良彦会員 林 輝一会員 一ノ坪英二会員
- ・南都経済センター西川理事長をお迎えして。松倉
新入会員をお迎えして。誕生日祝を頂いて。 甲村侑男会員
・お誕生日祝を頂いて。 吉岡寛人会員

卓話「2026年の経済動向～円安について考える～」

一般財団法人 南都経済研究所
理事長 西川恵造 様



毎年1月1日、日経新聞に上場企業経営者による今年の経済予測が掲載されます。どなたも企業の旺盛な設備投資が支えになり、個人消費も緩やかに回復していき、今年も日本は1%程度の経済成長をすると予測されています。上場企業を中心に高い水準の賃上げも実現されるということでございました。日経平均株価も高値を予想されていますが、既に昨日、今日の時点で5万7000円となっており、企業経営者の皆さんの想定以上になっております。

いずれにしろ、デフレ経済を脱却して、景気の回復局面になるという見方です。その中で、円・ドル相場は、日米の金利差の解消だけでは円高に振れるとは思っておりません。本日はその理由についてお話をいたします。

まずは金利の見通しですが、この間、日本の低金利政策と、アメリカによる引き締めの結果、金利差が拡大してきました。金利差が拡大するとドル高・円安になるというのが経済の常識です。ここに来てアメリカは金利を引き下げましたので、しばらくの間は日米の金利差が縮小し、円高に振れたんですけども、日米の金利差に連動しなくなってきました。果たしてこの円高・ドル安だけが物の値段なり替相場の遠因かといいますと、私はそうでもないのかなと思っています。

日本国内の閉じた中では円の価値は当然あまり下がっていませんが、国際的に見ますと、非常に下がっております。ときどき卑下した言い方として、安い国日本なんていう言い方がされますけれども、インバウンドの観光客も、比較的アジアの低所得層にと

っても日本が旅行対象になっているということが、これを表しているのではないかなと思います。

また、日本の人口は1年間で90万8574人、秋田県の人口と同じ程度減少してしまいました。これはマーケットの縮小を意味し、日本の国力を考えますと、非常に心配するべき数字だと思っております。

次に、日本の賃金と物価について、国際比較をいたします。G7加盟国の平均年収は日本が最低となっております。OECDの平均と比べましても、ここ20年くらいほとんど上がっていません。デフレでしたし、大手の企業も含めて賃上げをしませんでした。その間に、OECDの加盟国では賃金は右上がりになってきております。

これを可能ならしめていたのは物価です。給料が上がらないと普通は生活が苦しくなるはずですが、幸い日本の物価がほとんど上がりませんでした。その間に、OECD平均の物価は大きく3倍近く上がってきました。

日本の賃金が上がってこなかったのは、よくデフレ経済の影響とも言われますが、私としては、バブル崩壊後の不況の中、企業が非正規雇用者を増やして賃金を上げなかったことが原因だと考えております。

政府は官製春闘とも呼ばれるように、企業に賃上げを強く促し、最低賃金を引き上げております。今現在は物価上昇が続き、値上げによって企業収益が拡大しております。企業が儲かれば、儲かった分を従業員に分配する賃上げが行われます。この賃上げが物価上昇を上回る水準であれば消費が拡大します。消費が拡大すればまた物の値段が上がってくる。それに応じて景気の好循環で金利が上昇するというふうになります。奈良県の経済の鍵になるのも、中小企業、零細企業も含めた、県内の地場産業において何とか賃上げに成功するかどうかだと思います。

以上のように、日本では賃金が上がらず、物価上昇が抑えられてきた間、世界では物価も賃金も右上がりになり続けていましたので、結果として安い国日本という状態になってしまった、これが円安の大きな要因だと思います。今現在の2%程度の物価の上昇というのは、インフレというよりも物の値段の正常化と捉えるべきではないかなと思っています。それほど日本の物価、賃金、金利の3つは国際的に見ても異常値にあると言っても過言ではありません。

経済の好循環を何とか定着させて、高市総理の言葉ではないですけども、強い国日本というものを世界に認知してもらえなければなかなか円高には向かえないのではないかと考えております。当面は、我々としても、物価上昇、円安を、ある意味、ポジティブに受け入れる覚悟が必要です。

為替の相場は、恐らく160円が日米の行政府による一つの目安になっているのかと思います。これに近づけば、恐らく政府による為替介入が行われるのではないかなと思われれます。当面は155円から160円というレンジで円安が動いていくのではないかなというのが、今日の私のお話の結論でございます。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
2月10日	87	57	48	9	0	30	21	9	89.65%
2月3日	86	56	51	5	1	30	21	0	94.80%
1月27日	86	56	47	9	4	30	17	0	93.15%

※2月3日は弁当残数0個を達成しました。引き続きご協力をお願いします。